

## 3ヶ月シリーズ講座

## はじめての陶芸

講師 村上 光男 陶芸家

土くれをこねて焼くと器になる、そんな単純な作業がこのうえなく楽しいのはなぜでしょう。入れ物を作るだけならどんな形でもどんな色でも良さそうなものですが、太古の昔から人はさまざまな文様や美しい色、そして形を作り出してきました。美しいものを作り出すからこそ人間だとも言えます。さあ皆さんもぜひ挑戦してみましょう。(エプロンとタオルをお持ちください)

◇3月～5月 各日 18:30～20:00 定員 15名

## 3月11日(木) 「手びねりの基本」

陶芸と一口に言いますが、実は陶器と磁気の種類があって、この2種は材料が違います。陶器は土ものといって伊賀焼とか信楽焼に代表されるようにゴツゴツした感じ。磁気は長石や珪石を含むもので、基本真っ白で焼きが固く透明感があります。講座で作るのは陶器で、初めての方でも、それなりのあじわいが出てくるので不思議です。にわか陶芸家になったようで気分がいいものです。一度挑戦してみませんか。

## 4月8日(木) 「絵付け」

前回作ったものに絵を描いてゆきます。絵の具のような呉須という青色の染料ですが、あまり深く考えずに思いのままに描いてゆけばそれはそれで良いのですが、やっぱりやるからには素敵にと細い筆と太い筆を使い分けて凝った絵付けをする方もいます。どんな柄にしようかと前もってプランを持っておくとうまいのでは? アクセント用に緑色やピンクもありますよ。

## 5月13日(木) 「焼メ風の器」

焼メとは釉薬をかけずに高温で焼成した陶器のことですが今回は鉄分の多い土を使って灰の釉をかけて作ります。置かれた場所によって素材ですが多様な焼き物になりますので、どんな風に焼きあがるのかとても楽しみです。(この回で作った作品は、後日お渡しします。)

参加費 (3回分) 会員 7,350円 ビジター 8,850円(材料費含む)

## 6ヶ月シリーズ講座

## 伊勢根付づくりに挑戦!

講師 中川 忠峰 国際根付彫刻会伊勢支部長

伊勢みやげとして一世を風靡した「伊勢根付」。これは朝熊黄楊という伊勢にしかない材料に恵まれていたからです。手で撫でているうちに色はあめ色に変化し艶を増し、すべすべ感がなんともいえない癒しをもたらします。刃物の使い方を覚えるためのペンダントトップ作成から始めて、先生の丁寧な指導のもと根付け作成へと進んでいきます。 ※彫刻刀セットをお持ちください、お持ちでない方はご相談ください。

◇4月～9月(6回講座) 各日 18:30～20:30 定員 15名限定

4月9日(金)

7月9日(金)

5月14日(金)

8月20日(金) ※この回のみ第三金曜日

6月11日(金)

9月10日(金)

参加費 (6回分) 会員 10,200円 ビジター 13,200円(材料費含む) ※作品により追加費用をいただく場合があります。

## 6ヶ月シリーズ講座

## 茶の湯 つれづれ噺 その2

講師 浅沼 宗博

今日庵名誉師範正教授・皇学館大学現代日本社会学部特別招聘教授

茶道・華道・香道(書道を入れる場合もあります)を三道といい室町時代にその作法たちの基礎が定まったと伝わります。中でも茶道は、はじめは貴族階級や僧侶のものでしたが、その後武将や大商人に広まり、江戸時代になると庶民階級にまで浸透していきました。茶道は総合文化といわれています。その歴史はすなわち日本文化の歴史ともいえます。室町時代から江戸時代の茶人の逸話などを、やさしくひも解いていただきながらその時代時代を壮絶に、またしなやかに生きた人々の生涯に思いを馳せてみます。(季節、進み具合など諸事情により講義内容を変更することがあります)

◇4月～9月(6回講座) 各日 18:30～20:00 定員 20名

4月15日(木) 「茶人ものがたり」① 一利休の生涯—  
「利休の家族」5月20日(木) 「茶人ものがたり」② 一利休の生涯—  
「利休の最期」6月17日(木) 「茶人ものがたり」③ 一江戸初期の茶人たちと三千家の分立(1)—  
「千少庵」(1614年没) 「千宗旦」(1648年今日庵造る) 「金森宗和」7月15日(木) 「茶人ものがたり」④ 一江戸初期の茶人たちと三千家の分立(2)—  
「千少庵」(1614年没) 「千宗旦」(1648年今日庵造る) 「金森宗和」8月19日(木) 「茶人ものがたり」⑤ 一郷土の茶人(宗旦四天王)(1)—  
「杉木普斎」1706年没(1)9月16日(木) 「茶人ものがたり」⑥ 一郷土の茶人(宗旦四天王)(2)—  
「杉木普斎」1706年没(2)

参加費 (6回分) 会員 5,400円 ビジター 8,400円

## 6ヶ月シリーズ講座

## 茶の湯、初めての体験

講師 浅沼 宗博

今日庵名誉師範正教授・皇学館大学現代日本社会学部特別招聘教授

単にお茶を飲むだけの行為が芸術にまで高められた茶道、日本ならではのと思いませんか? 習ってみたいけど…難しい作法はあるし、着物は着られないしと尻込みをしてしまいがちですね。「少しは触れておきたい」「日本人として、正しいお作法を身につけたい」など、茶道を習いはじめのきっかけは人によって様々ですが、始めてみると思っていた以上に楽しくなるのも茶道の極意です。大丈夫、浅沼先生がその人に合わせて優しく教えてくださいます。生活にリズムをつけるためにも、ぜひ始めてみませんか?

コロナウイルス感染防止対策のため、参加人数を制限させていただくか、申し込み状況によっては2班に分けさせていただきます。茶巾は各自購入していただき、袱紗なども含め持ち物の貸し借りをせず、マイ茶巾をお使いいただくことになります。安心していただける新しいお稽古の在り方を検討しながら進めてまいりますので、講座推進については先生、スタッフの言葉に従っていただきますよう、お願いいたします。安全を最優先として、細心の注意を図り、万全の態勢で臨みたいと思っておりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

(茶巾を各自ご購入の上、袱紗など一式をお持ちください。また、先生のご都合により日時が変更になる場合がございます。)

◇4月～9月(6回講座) 各日 13:00～15:00 定員 20名

4月24日(土) 「日常に生かされる茶の湯」①

5月22日(土) 「日常に生かされる茶の湯」②

6月19日(土) 「日常に生かされる茶の湯」③

7月24日(土) 「日常に生かされる茶の湯」④

8月28日(土) 「日常に生かされる茶の湯」⑤

9月18日(土) 「日常に生かされる茶の湯」⑥

参加費 (6回分) 会員 8,400円 ビジター 11,400円(茶葉代・材料費含む)